



ごあいさつ

医療連携福祉センター長 齋藤 豪



医療連携福祉センター長の齋藤です。

今年は、元号が変わり2年目となりますが、新年早々の1月末頃から、新型コロナウイルスが世間を騒がせるようになりました。北海道においては、感染者が多数発生し、鈴木知事が全国に先駆けて緊急事態宣言を行い、不要不急の外出自粛を要請するなどの対応をとりました。その後、東京都をはじめ、各地で感染者が増え、政府は全国を対象に緊急事態宣言を発出しましたが、先が見えない状況が続いています。

そのような中、新年度を迎えましたが、各種行事の開催自粛、休校措置、在宅勤務など、みなさまご自身やご家族の方には、様々な環境が変化することにより、不安で緊張した毎日を過ごされている方もいると思います。

社会においては、世界各地における新型コロナウイルスの感染拡大により、今年予定されていた東京オリンピックが来年に延期されるなど、多方面において、みなさま一人ひとりの予定に様々な影響をもたらすかもしれません。また、みなさまの地域におかれましても、新型コロナウイルスの影響により、普段とは違う対応を取らなければならない場面が多々あると思います。このような状況の中で、最前線に対応されている医療現場のみなさまは、患者さんへの対応や物資の不足等で、これまでになく困難な状況が続いていますが、それぞれが知恵を出し、協力し合いながら乗り切っていきたいものです。

最後に、感染拡大を阻むため奮闘する全ての医療従事者のみなさまに感謝の意を表し、ご自身および周囲の関係者の方々の健康管理に十分にご留意いただきますよう、くれぐれもお気を付け下さい。札幌医科大学附属病院が、高度先端医療をお届けし地域医療の中心的な役割を發揮していくために、みなさまとの連携をさらに強固にし、ともに新しい時代の医療を担っていきたくと考えておりますので、これからもご協力いただきますようお願い申し上げます。

がんゲノム外来開設のお知らせ

2019年6月に「がん遺伝子パネル検査」が保険収載となり、当院では2020年1月より「がんゲノム外来」を開設し、保険診療でがん遺伝子パネル検査を実施しています。

既に多くのお問合せ、ご紹介をいただいております。今後もがんゲノム医療中核拠点病院である北海道大学病院や、その他の連携病院と協力しながら道内のがんゲノム医療体制整備に尽力してまいります。

【がん遺伝子パネル検査とは】

現在「がん」は主に発生臓器及び組織型に基づいて分類され、治療法の選択が行われています。がん遺伝子パネル検査は、がんの発生に関わる多数の「がん関連遺伝子」を一度に調べ、その情報に基づいた治療法の選択につなげる検査です。

パネル検査では通常100種類以上の遺伝子を調べることが可能です。選択するパネル検査の種類によって調べる遺伝子の数や種類は異なります。保険診療になりますので、適用となる条件があり、また検査を実施し、何らかの遺伝子変異が見つかったとしても、すべての方が治療に結びつくとは限りません。

現在の遺伝子パネル検査ならびに薬剤開発の状況から、がん遺伝子パネル検査を受けて治療につながる割合は10パーセント程度とされています。

○保険適用となる患者さん

標準治療がない、または局所進行または転移が認められ標準治療が終了となった固形がん患者さん（終了が見込まれる方も含む）で、さらに全身状態及び臓器機能などから、遺伝子パネル検査の後に化学療法の適応となる可能性が高いと主治医が判断した患者さん

○検査の種類と費用

* OncoGuideTMNCC オンコパネルシステムの場合は同時に採血も行います。

	OncoGuide™ NCC オンコパネルシステム	FoundationOne®CDx がんゲノムプロファイル
検査対象遺伝子数	114	324
検査対象融合遺伝子数	12	36
検査期間（最短）	4～6週間	4～5週間
料金（どちらも同じ）	保険診療の料金 56万円の1～3割が自己負担となります。 検査申し込み時と結果説明時の2回に分けて支払います。 高額療養費支給の対象となる可能性があります。	

- ・2つの検査のうち、どちらの検査で提出するかは担当医の判断になりますが、患者さんで選択していただくことも可能です。
- ・検査の費用には検査後の治療費は含まれていません。検査の結果を元に治療を行う場合には現在通院中の病院の主治医と相談の上、実施することになります。
- ・保険診療対象外の患者さんには自由診療でのがん遺伝子パネル検査を提供しています。

○がんゲノム外来について

毎週水曜日、木曜日の午後に行います。（完全予約制：患者さん自身からのご予約は受け付けておりません）

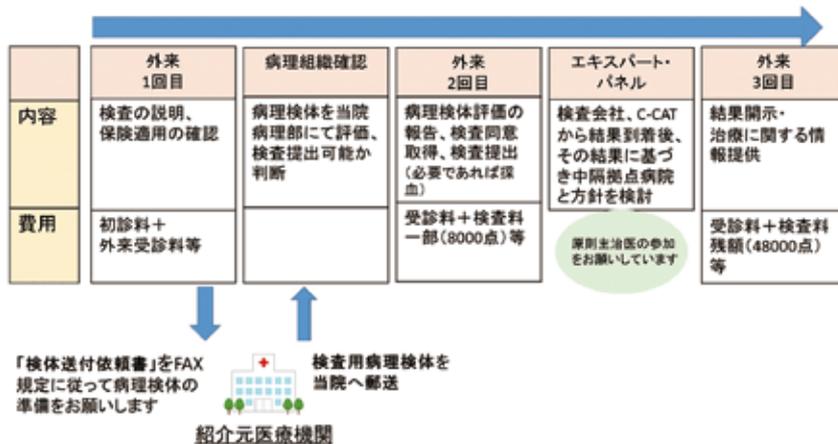
- ・毎週水曜日：14時00分～、15時00分～
 - ・毎週木曜日：14時00分～、15時00分～
- （病院休診日は除く）

○がん遺伝子パネル検査の流れ

★がんゲノム外来は原則計3回の外来受診が必要となります。

○がんゲノム外来ご紹介方法について

1. 下記書類、検査結果をご準備した上で、貴院のご担当者（地域医療連携室等）から当院の遺伝子診療科宛にFAXで診療申し込みをしてください。



【ご準備いただくもの】 ※必要書類はすべて規定書式があります。当院病院ホームページよりダウンロードしご利用ください。

- がんゲノム外来申込書（規定書式）
- 外来紹介時臨床情報（規定書式）
- 外来紹介前の薬物療法情報（規定書式）
- 診療情報提供書（がんゲノム外来専用）（規定書式）
- 採血結果（過去1か月以内に検査したもの）
- 病理検査結果報告書（病理検体は3年以内に作成されたものであること）
- CT画像（過去2回分：1回分は必ず過去1か月以内に撮影したものであること）（外来受診前に当院へご郵送ください）

診療申し込み先：札幌医科大学附属病院 遺伝子診療科（医療連携福祉センターではありませんのでご注意ください）

お問合せ時間：平日9時～17時

FAX番号：011-616-9690（がんゲノム外来専用FAX）

電話番号：011-688-9690（遺伝子診療科直通ダイヤル）

上記患者情報を担当者が確認の上、外来日程を決定し、当院の医療連携福祉センター担当者より、折り返し予約票をFAX致します。

※がんゲノム外来担当者より、追加情報をお問合わせさせていただく場合があります。

※当科からのご連絡用に、主治医のメールアドレスの記載をお願いします。

※検査提出用の病理検体は、原則として1回目の外来受診後に当院より「検体送付依頼書」をFAXし、その規定に則ってご郵送いただきます。検体の状況により検査の提出が難しい場合がございます。ご了承ください。

詳しくは病院ホームページ

<https://web.sapmed.ac.jp/hospital/section/genetics/ev9eit000004dmn.html>

をご確認ください。



がんゲノム外来スタッフ

上段左から 松浦研究補助員、宮崎遺伝カウンセラー
石川医師、水上医師

下段左から 田中遺伝カウンセラー、櫻井教授
高田医師

インフォメーション

○新患の外来受診予約について

医療連携係では、医療機関からのFAXでの申し込みにより、新患外来予約の事務処理を行っておりますが、新年度の留意点と外来予約体制について、お知らせいたします。

1. 免疫・リウマチ内科・・・申し込み時に血液データの添付（膠原病に関する項目、炎症反応、IgG4等）をお願いします。また、予約の返事には時間を要しますので、患者さんがお待ちの場合は帰っていただき、後日、予約日時を紹介元医療機関へお知らせいたします。なお、大変混んでいる診療科のため、予約日の設定が1か月以上あとになることもございます。

また、免疫・リウマチ内科の初診は、令和2年4月から、**毎週月曜日の完全紹介予約制**となりました。新患外来の受診予約は、紹介元医療機関から当院医療連携福祉センターに直接お申し込み下さい。患者さんご本人やご家族からの電話予約は受付けておりません。

3. 総合診療科・・・診療体制が整うまでの間、平成31年4月から当面新患外来の受付を中断しております。今後の予約再開に関しては、現時点では未定となっており、再開に関する情報は、附属病院のホームページでご確認下さい。また、総合診療等に関する相談診療については、原則として「内科新来」が対応することとなっておりますことを申し添えます。

4. 循環器・腎臓・代謝内分泌内科、脳神経内科については、医師との調整が必要となりますので、外来予約のお返事には数日いただくことがあります。



<医療連携係のスタッフです。>

なお、お問い合わせの多い入院（転院）の依頼については、最終ページの「入院（転院）の依頼について」をご覧ください。

新患外来予約の申し込み方法は下記のとおりです。改めてご確認ください。

1. 新患外来予約のお問い合わせ、申し込み先

月曜日から金曜日（平日）まで

電話番号：011-611-2111（内線51240）

※お問い合わせ先が変わりました

ファックス：011-621-2233



2. 予約の申し込み方法

- ・新患外来予約専用の申込用紙「新患外来診療予約申込書」に記入の上、ファックスでお申し込みください。専用の書式は当院のホームページからダウンロードできます。
※お電話いただければ様式をお送りすることも可能です。

新患外来受診予約のウェブサイト

<http://web.sapmed.ac.jp/hospital/medical/mumhv60000002zmz.html>

- ・受付時間は、「9:00～12:00」と「13:00～16:00」です。
業務をスムーズに進めるためにも、ご協力をお願いします。
- ・患者さんご本人からの予約申込みは受け付けておりません。（遺伝子診療科、神経精神科を除く）
- ・患者さんが貴院でお待ちの場合は、15分以内を目途にファックスで予約票をお送りします。
ただし、医師指定の場合や受診希望の診療科によりましては、診療スケジュールを医師や外来看護師に確認した後のお返事となります。その際は、お返事にお時間、お日にちがかかる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ・お送りしました予約票は、貴院から患者さんへお渡しください。
- ・当日の新患外来受診の予約や検査のみの予約はできませんのでご注意ください。
- ・申込みをいただいても、疾病の内容などにより、当院では診療をお引き受けできない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

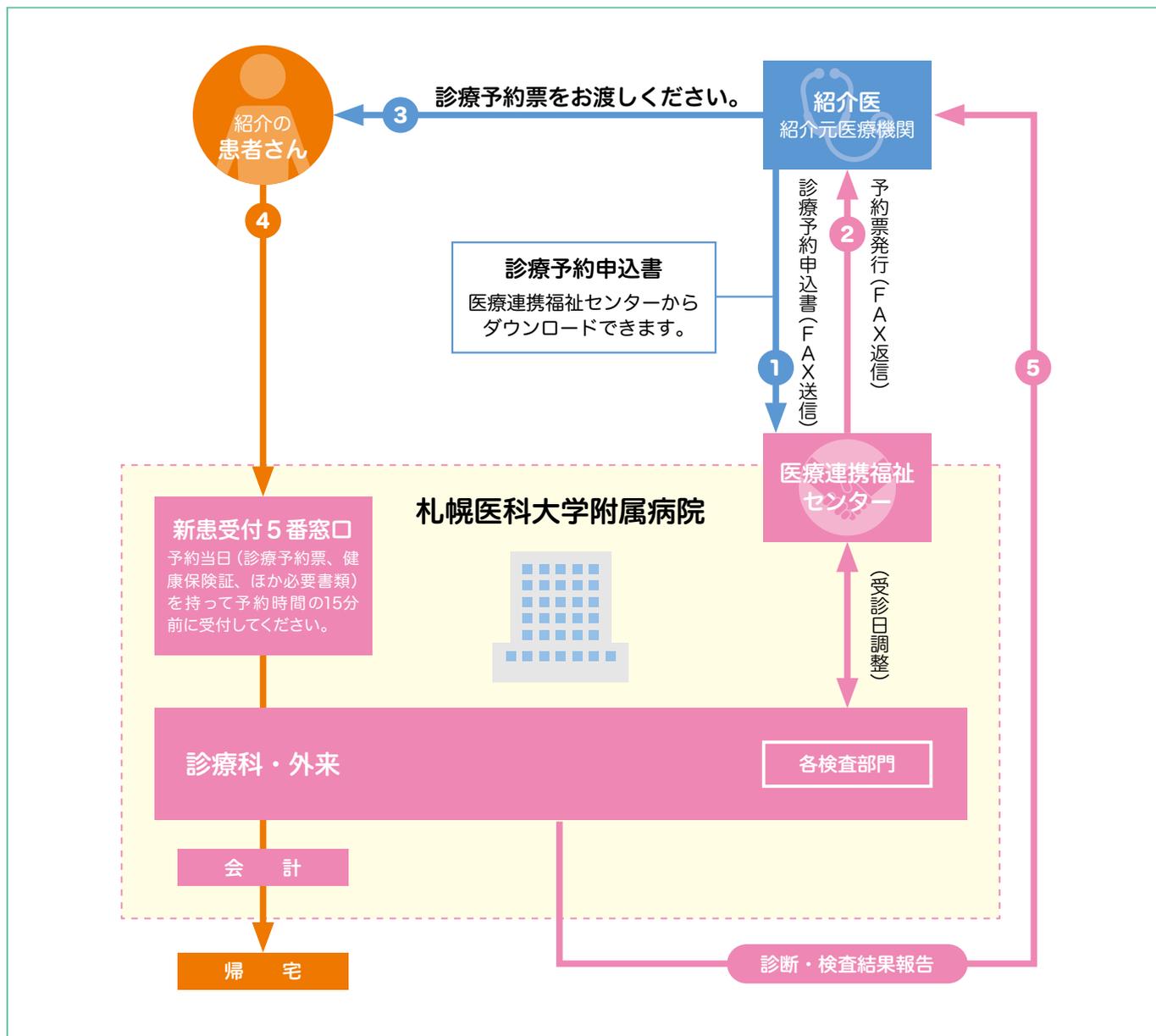
申込みファックスに関するお願い

- ・申込みの際、診療情報の他、検査データの枚数が5枚以上になる場合（特に心電図の枚数が多い場合）は、送信前に、一報ご連絡をいただければと思います。混み合う時間を避けるようお願いする場合があります。
- ・紙面による画像・写真の送信は真っ黒に印刷されるので、ご遠慮下さい。
- ・初診の申し込みではなく、再来受診の患者さんの事前の診療情報提供書の送信については、受け付けておりませんのでご了承下さい。受診当日の持参をお願いします。

3. 受診受付

- ・患者さんは、予約票、保険証、診療情報提供書などをお持ちの上、予約時間の15分前までに新患受付5番窓口で受け付けを済ませてから、外来でお待ちください。

医療連携係は、少ないスタッフで実務にあたっております。また、FAXが混み合っており迷惑をかけることもあると思いますが、今後ともよろしく願いいたします。



(注意事項)

1. 通常診療

当院は特定機能病院であるため、初診の患者さんで他の病院等からの紹介状をお持ちではない場合は、初診料とは別に保険適用外の**初診時一部負担金(医科5,500円、歯科3,300円)**をご負担いただいております。臨床遺伝外来、神経精神科以外は予約なしでの受診もできますが、待ち時間軽減のためにも医療機関からの予約申し込みをおすすめします。

2. 再来診療

同じ診療科で1年以内に受診歴がある場合は、「新患予約」の扱いになりませんので、「**14:00～15:30**」の間に**各診療科外来**にお問い合わせください。

※代表番号011-611-2111からオペレーターに外来名をお伝えください。

3. 神経精神科の予約

- ・**新患受診**：月曜日から金曜日(祝祭日を除く)の14:00から15:30までの間に、電話で予約してください。(電話番号 011-611-2111 内線35330(神経精神科外来))
- ・**もの忘れ外来**：月曜日から金曜日(祝祭日を除く)の14:00から15:30までの間に、電話で予約してください。(電話番号 011-611-2111 内線35330(神経精神科外来))
なお、かかりつけの病院またはクリニックからの紹介状が必要となります。
- ・**GIDクリニック(性同一性障害専門外来)**：初めての受診は予約が必要です。予約の方法は当院ホームページ(トップページのお知らせ欄)で確認してください。

○入院（転院）の依頼について

入院のご依頼は、医療連携福祉センターでは承っておりません。主治医から各該当診療科の病棟医長に電話等で直接相談していただきますようお願いいたします。

- 当院の入院予約になっている患者さんの入院日時の連絡は、決まり次第、医師または看護師長から連絡をしておりますのでお待ちください。
- 入院が決まった後の日程等の調整も各病棟で行っていますので、不明な点があれば各病棟の看護師にお問い合わせください。
- 入院に関する診療情報提供書のFAX送信については取り次ぎますので、**電話でご連絡の上**、医療連携福祉センターのFAXに送信していただいで結構です。

○セカンドオピニオン外来について

当院では、セカンドオピニオン（第二の意見）を求める患者さんやそのご家族に対して、現在、診療を受けている医療機関からの紹介状と必要な資料に基づいて、当院の医師が、参考となる意見や判断を提供する「セカンドオピニオン外来」を開設しております。

- ご用意いただくもの
 - ・主治医からの紹介状（お受けできるか判断するために、申込時に必要となります）
 - ・画像、検査資料
 - ・相談同意書（ご家族だけで面談の場合）等
- 料金
1回 60分以内 22,000円（消費税込）
- 申込方法
 - ・当院申込書にご記入のうえ、FAXでお申込ください。（申込書は当院ホームページからもダウンロードできます。）
 - ・医療機関からお申し込みの場合は、紹介状も一緒にFAXしてください。
 - ・申込書を提出された方へご連絡後、日程を決定し、ご相談をお受けします。

セカンドオピニオン外来のウェブサイト

<http://web.sapmed.ac.jp/hospital/guide/mumhv60000002omq.html>

担当 医療連携係 011-611-2111 内線51230

編集後記

新型コロナウイルスのニュースが毎日、新聞やテレビを賑わせています。不要不急の外出自粛、マスクが手に入らない、手指消毒に気を遣うなど、ストレスや疲労が蓄積されてきていると感じます。

私たちの係では、「手洗い」「3密を避ける」「自己免疫力を高める」を実践しています。

- ・席に戻ったら手洗い。
- ・時間ごとに窓を開けて換気。
- ・面談するときは窓や扉を開けて換気。可能な限り座る間隔を空ける。
- ・睡眠をしっかりとる。
- ・腸活（乳酸菌飲料、発酵食品などを積極的に摂取し自己免疫力を高める）。

腸活の効果が出るのは夏頃でしょうか。できる限りのことをして、一日でも早く感染が終息することを願うばかりです。



（退院支援係 佐賀 良子）

札幌医科大学附属病院 医療連携福祉センター

医療連携係（内線51210、51230、31320） 退院支援係（内線31930、51260、51270、51250）
相談係（内線31840、31890、31900、31910、31920、31960）

〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目
TEL：011-611-2111（代表） FAX：011-621-2233